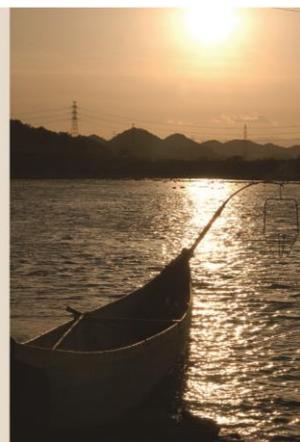




Rotary 関ロータークラブ

2019-20 年度国際ローターテーマ RI 会長 マーク・ダニエル・マローニー
 「ローター：ローターは世界をつなぐ ROTARY: ROTARY CONNECTS THE WORLD」
 2019-20 年度 関ロータークラブ会長 テーマ
 ～私ができる社会貢献をしよう～ 54 代会長 土屋佳久

■会長 土屋佳久 ■副会長 木村 聡 ■幹事 尾崎嘉彦
 白田龍司



■例会：火曜日 12:30

■例会場：関市本町 6-20 大垣共立銀行関支店 2F

■事務局：関市平和通 7-10-25 アメリカ 2F

本日のプログラム 第 2564 回例会 2019 年 12 月 11 日(水)



年末家族会「鈴木雅之ディナーショー」

於：都ホテル岐阜長良川



前例会の記録・第 2563 回 12 月 3 日(火)12:30

「率先励行～青年会議所のまちづくり運動～」

関青年会議所 理事長 小島祐治様

◆開会点鐘

◆「君が代」「奉仕の理想」斉唱

◆会長挨拶



12 月 7 日(土)に第 20 回高木守道杯関市中学校軟式野球リーグ戦の閉会式が行われます。残念ながら今回で「高木守道杯」という名前では最後になります。各地でこの「高木守道杯」は開催されていましたが、全て現在は無くなっており関ロータークラブが

最後(トリ)を努める訳です。そして閉会式終了後、守道さんと中日ドラゴンズ現 1 軍コーチの荒木雅博さんのトークショーも行います。是非、沢山のご出席をお願いいたします。さて 20 年前の第 1 回はどんな感じでスタートしたのでしょうか？調べてみました。平成 12 年 7 月 27 日に開会式があったのですが、当時は合併前でしたので「8 中学校～」でスタートしています。会長は杉山博之さん、副会長は北村正敏さん、幹事が西村さん、新世代委員長が清水善光さん、委員として堀部さん、高木守道さんは職業奉仕委員長をされておりました。この方々を中心に準備が行われていたと思いますが、関市や野球連盟、新聞社などの後援のお願いなど大変ご苦労されたことと思います。この大会がこの様に長く継続できたという事は本当に素晴らしい事ですし、野球が大好きな私が会長職として最後を締めくくれる事を本当に光栄に思います。今年度は新加入チームで女性だけ

で編成された「岐阜エンジェルス」が入ってくれました。このチームは関市の中学生は 10 名ほど、他には各務原、美濃加茂、高山からも集まってきております。という事は、私たちは関市以外の青少年育成にも協力し、存在力を示しているという事になると思います。次年度は違う形でこの大会を継続されると聞いています。小学生対象のラグビーと共に関ロータークラブは地元の青少年には無くてはならない存在であり続けていきたいと改めて感じました。

◆委員会報告

◎出席委員会 委員 栗倉晋吾
 会員 50 名中 出席 24 名 出席率 50.00%

◎ニコボックス委員会 委員 古田貴巳

会長・副会長・幹事の皆さん・・・本日のお客様、関青年会議所 理事長 小島祐治様、ようこそ関ロータークラブへ。青年会議所でのまちづくり運動の紹介をしていただけるようで、興味深く思っております。よろしくお願ひいたします。

藤井淳さん・・・関青年会議所 理事長 小島祐治様、副理事長、山中孝浩様、本日は、関ロータークラブへようこそおいでくださいました。本日の卓話を楽しみにしております。よろしくお願ひいたします。

堀部、後藤、林(昇)、長尾、古田、木村、加藤(照)、栗倉の皆さん・・・関青年会議所 理事長 小島様、ようこそ関ロータークラブへお越しくださいました。本日は、日々のまちづくり活動のお話楽しみにしております。また、理事長職も残り 1 ヶ月となりました。今回は今まで培った経験に基づき 1 年の集大成として卓話を期待しております。

◆「率先励行～青年会議所のまちづくり運動～」

関青年会議所 理事長 小島祐治様

本日はロータークラブの例会に招きいただき



ありがとうございます。また、平素より関青年会議所の活動にご理解ご協力いただき感謝申し上げます。私は下有知小、中、関高校を卒業し愛知大学の経営学部に進学いたしました。学業を終え、父親の会社であります小島不動産に入社し現在代表を務めておりま

す。20代は資格の勉強を主にしております、宅地建物取引士、行政書士、土地家屋調査士の資格を取り、30代は関青年会議所で主にまちづくりの運動に関わらせていただきました。青年会議所を卒業後の40代は資格を活かし仕事を今以上に充実させるとともに、引き続きまちづくりにも関わっていったらと思っております。私が青年会議所に入会したのは32歳の時で7年ほど活動してまいりました。青年会議所はまちづくり、ひとづくりの活動の中で自己成長の機会を与えてくれる団体であります。また、仕事や普段の生活では感じることでできないやりがいや達成感を感じることができ、その活動の中で仲間づくりのできる団体であると思っております。私も今まで仕事や普段の生活の中では経験することができないことを経験させてもらい自分の成長へとつなげることができました。私が青年会議所に入ったばかりの頃は正直何をしているところかも分からず、ただ先輩の言うことを聞き活動している、そんな時期もありました。懸命に取り組む仲間の姿を見て、自分に足りないものは率先して考え、行動する姿勢であると思いました。また仕事があるからと遅刻していくこともありました。当初は自分の中でも優先順位が低かったのかもしれませんが、しかし、いろんな活動をしていく中で、青年会議所での振る舞いは日頃の自分の姿であると気がつきました。忙しいからとどうしても締め切りギリギリになってしまったり、また時間ギリギリに約束の場所に行くことは、青年会議所でなくても自分が行っていた行動だったのです。そこから私は青年会議所の活動だからと軽く見るのではなく、一つひとつ真剣に向き合うようになっていきました。そのように青年会議所と向き合うことで活動を一つひとつ自分の成長へと繋げることができたのではないかと思っています。本年度スローガンを「率先励行 今と未来を繋ぐために」として活動してまいりました。私たちがまちづくりを行う上で大切なこと、またリーダーとして大切なことは率先して動くことだと思います。そしてもう一つは繋がりを大切にして活動をし、未来へつないでいきたいという思いがありました。この関市においても人口減少や少子高齢化が今後も進み、空き家や空き店舗が増え、また公共施設の統廃合も進み、今までに経験したことのないことが次々と起こってくる

と思います。そんな時代に私たちが大切にしなければいけないことは、人と人との繋がり、人とまちの繋がり、まちとまちの繋がりであると思えます。若い世代では自治会の未加入者も増え、世代を超えた繋がりというものは薄くなってきていると考えます。本年度私たちの行った活動の一部を紹介させていただきます。一つは中濃地区の5つの青年会議所メンバーが集まり、三重県知事の鈴木英敬氏をお招きし、地域との繋がりを考えることの重要性を学ぶ講演を行いました。鈴木知事は青年会議所の先輩でもありましたので、行政の立場と青年会議所の立場から三重県で起きた問題や解決策を参考事例として皆で学ばせていただきました。二つ目は関の包丁大使のいけやけんじ氏をお招きしてコミュニティキッチンを開催しました。料理という手法を使って参加者が地域で交流する場を創出することが目的で、助け合って料理を作り、交流をすることの大切さを学んでいただきました。三つ目には、中学生を対象に郷土愛を育てていただく事業を開催いたしました。子供たちの中には将来関市をでていくからあまり興味がないという子もみえましたが、たとえ関市を離れても関市を想い、できることがあるという気持ちを持っていただくために、関市の伝統文化に触れディスカッションをしていただきました。本年度は繋がりを大切に事業を展開してまいりましたが、一日だけの事業で終わってしまっただけは効果が薄れていくと思います。理事長職を終えた後も繋がりを大切にして積極的にまちのため、人のために行動していきたいと思っております。今後とも関青年会議所の活動にご理解ご協力をお願い申し上げます。

◆12月のゴルフ会

日時：12月8日（日）7：59スタート

場所：美濃関カントリークラブ

優勝：臼田龍司さん



次例会のご案内

12月17日（火）12：30

「年次総会」